

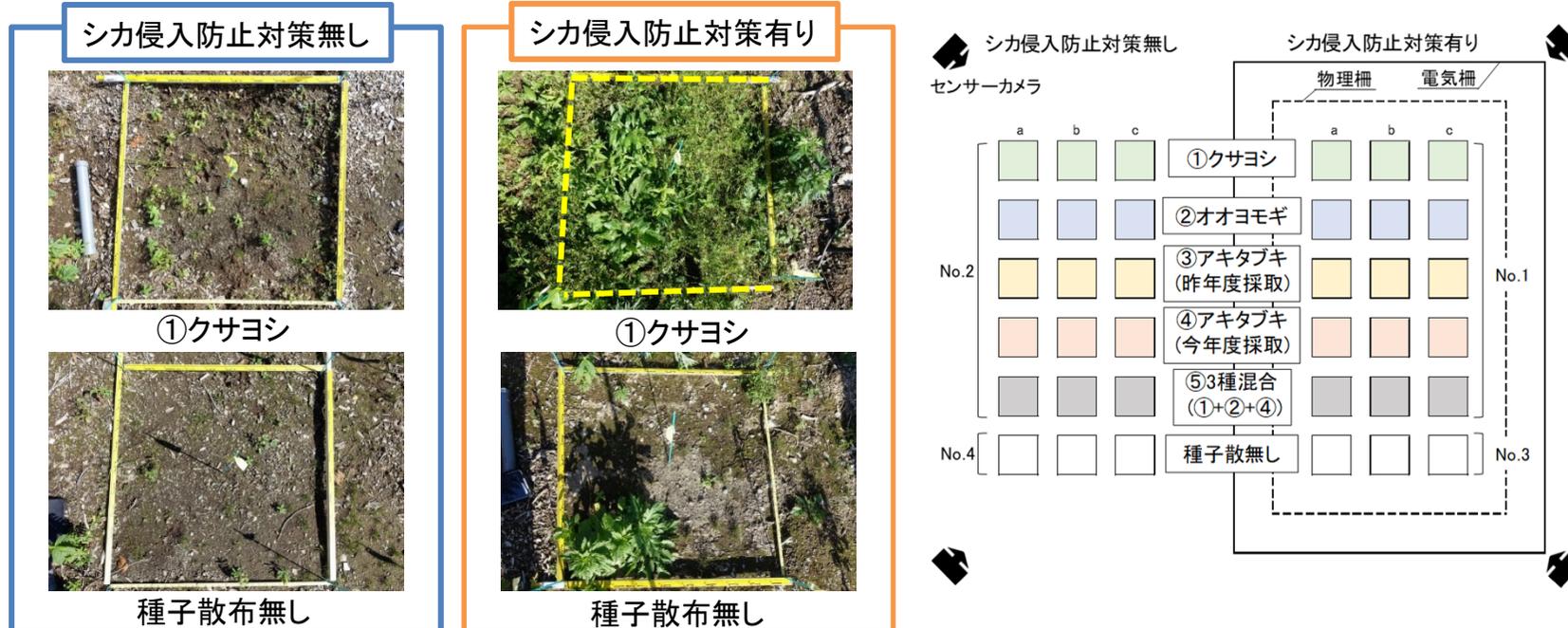
2.在来種の現地播種調査

全種※1の植被率※2

※1 全種＝各コドラートに播種した種＋自然侵入した種

※2 コドラート内を植物が覆う面積の割合(%)＝(植被面積/コドラート面積)×100

- ・シカ侵入防止対策無しより、シカ侵入防止対策有りのほうが高かった
- ・シカ侵入防止対策無しでは、試験パターン間の差が小さく、低かった
- ・シカ侵入防止対策有りでは、①クサヨシ、②オオヨモギ、③アキタブキ(昨年度採取)で高く、種子散布無しで低かった
- ・植被率の高いコドラートは、非対象種(スカシタゴボウ、トモエソウ等)に覆われる傾向あり＝対象3種のみで全体を覆うほど植生回復なし



令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

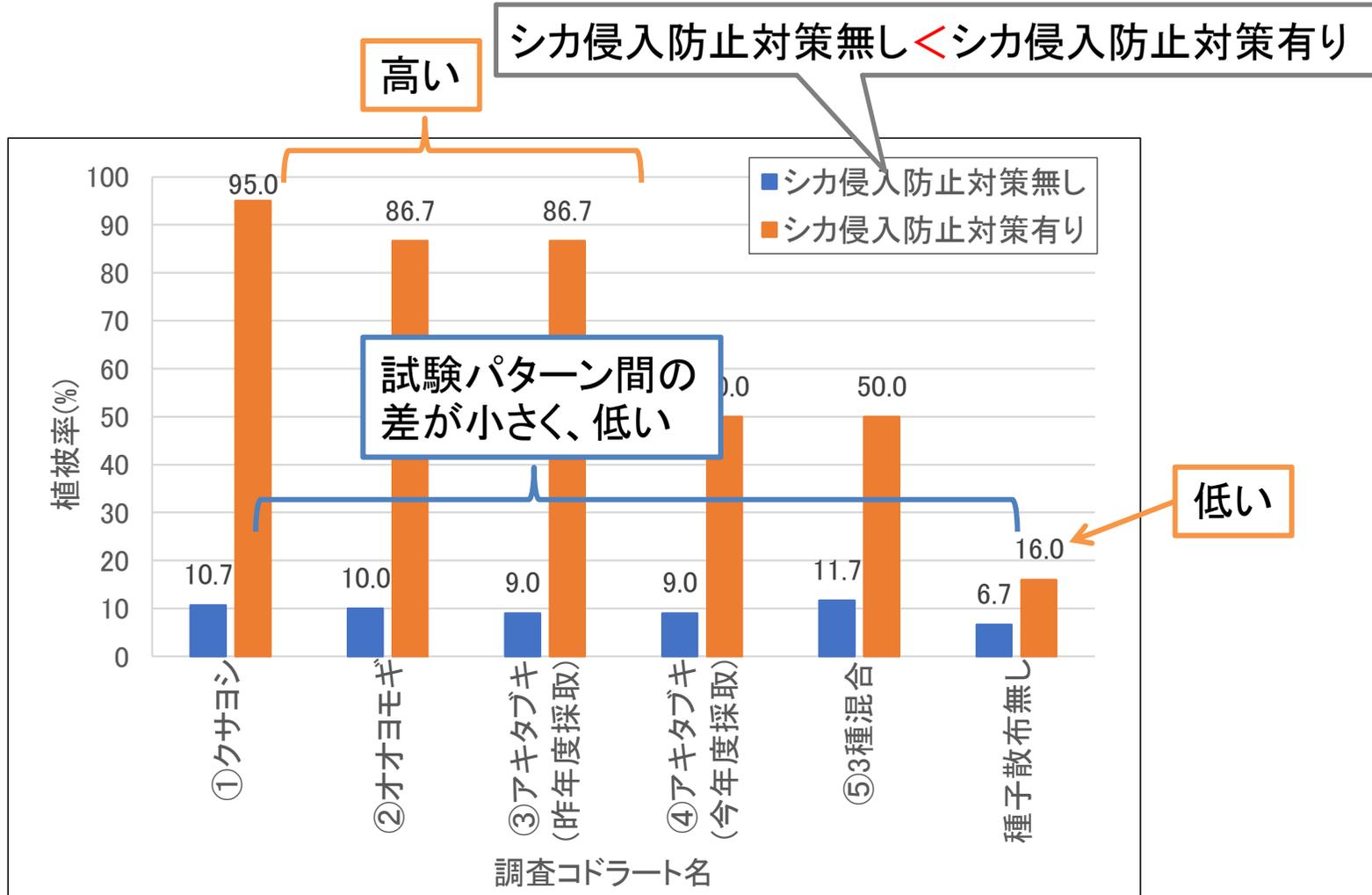
2.在来種の現地播種調査

全種※1の植被率※2

※1 全種=各コドラートに播種した種+自然侵入した種

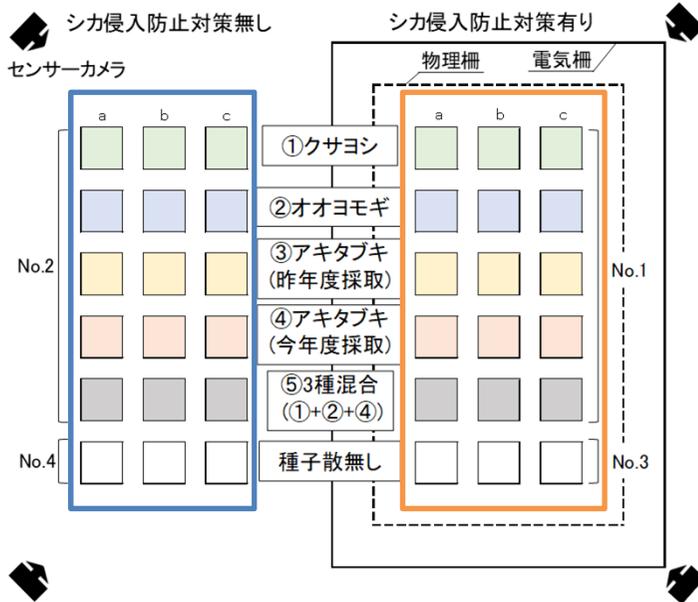
※2 コドラート内を植物が覆う面積の割合(%)=(植被面積/コドラート面積)×100

※3 9月調査の結果を最終状況として比較した



令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2.在来種の現地播種調査



シカ侵入防止対策無しでは
エゾシカによる食害を確認



上空からの写真(8月調査)



上空からの写真(9月調査)

2.在来種の現地播種調査

対象種※の被度 ※対象種＝各コドラートに播種した種

- ・シカ侵入防止対策無しより、シカ侵入防止対策有りのほうが高かった
- ・シカ侵入防止対策無しでは、試験パターン間の差が小さく、低かった
- ・シカ侵入防止対策有りでは、②オオヨモギと⑤3種混合のオオヨモギで高かった
- ・シカ侵入防止対策無し・有りともに、③アキタブキ(昨年度採取)と⑤3種混合のアキタブキは低いか、個体が出現しなかった

シカ侵入防止対策無し

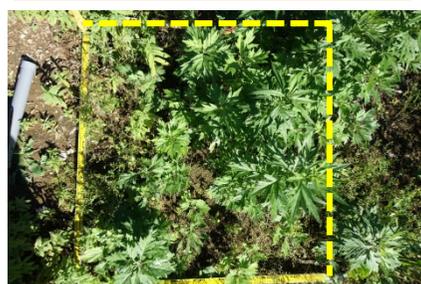


②オオヨモギ



③アキタブキ(昨年度採取)

シカ侵入防止対策有り



②オオヨモギ



③アキタブキ(昨年度採取)

被度		百分率
5	被度がコドラート面積の3/4以上を占めているもの	75%以上
4	被度がコドラート面積の1/2～3/4を占めているもの	50～75%
3	被度がコドラート面積の1/4～1/2を占めているもの	25～50%
2	個体数が極めて多いか、または少なくとも被度が1/10～1/4を占めているもの	10～25%程度
1	個体数は多いが、被度が1/20以下、または被度が1/10以下で個体数が少ないもの	10%以下
+	個体数も少なく、被度も少ないもの	